



足立入谷小だより

令和5年3月1日
足立区立足立入谷小学校
校長 田村 正弘



それって誰のせいですか？

校長 田村 正弘

早いもので今年度最後の学校だよりとなりました。学年末を控え6年生は卒業に向けて大忙しですし、他学年の児童も一つ上の学年を見据え授業に集中しています。

私事です、最近、バカリズムさん脚本の「ブラッシュアップライフ」というドラマにはまっています。主人公が30歳前後で事故死をするたびに、前世の記憶を残したまま2回目、3回目の人生を繰り返していくという話です。その主人公が中学生のとき、授業中に先生の目を盗んで手紙を回していた2人の生徒が先生に手紙を取り上げられ叱られる場面があります。先生は「お前たちのせいでみんなの大事な授業が奪われている」と叱責します。そのとき、すでに3周目の人生を送っている主人公は、先生に向かって「手紙を回したことは悪いが、授業時間を使って怒っているのは先生の判断であり、私たちが授業を受けられないのは、その子たちのせいではなく先生のせいだ」と反論するのです。それに対して先生は、たじたじしながら「二人が手紙を渡さなければこのような状況になっていない。後で職員室へ来い。」と強引にその場を収束してしまいます。言い分としては主人公の方が正しそうですが、私たち教師の立場から見ると先生の気持ちも分からないではないと同情してしまいます。時間を空けずに指導することも時には必要ですので責任の所在を特定するのは難しいです。

誰に責任があるのかを考えると複雑になる騒動がありました。スシローに代表される迷惑動画です。不特定多数の人が口にする商品や茶碗等に唾をつけたりするのと言語道断ですが、それを動画で撮影している人にも悪意を感じます。さらにSNSにアップすることにより企業側に損害を与えた人にも重い罪が科せられます。しかし、そもそもそのような「くだらない行為」をなぜするのか考えると、「その動画を面白がる大衆」の存在があるからです。面白がっているのではなく憤慨しながら映像を見ている人もいるでしょうが、迷惑行為をしている者たちの中には、バッシングを受けても再生回数を増やすことに価値を置いている場合もあります。また、何度も取り上げ社会的関心事にしてしまう報道の仕方にも議論の余地があります。

人への迷惑行為が発生するためには、背景や原因、きっかけとなる誘因、環境等、様々な条件が重なります。しかも、そこに関係する人は想像できないほど大勢います。ここまで考えると責任をただ一人に押しつけたり、原因を一つに決めつけたりすることには違和感を覚えます。原因と結果の関係はそれほど単純ではないのです。

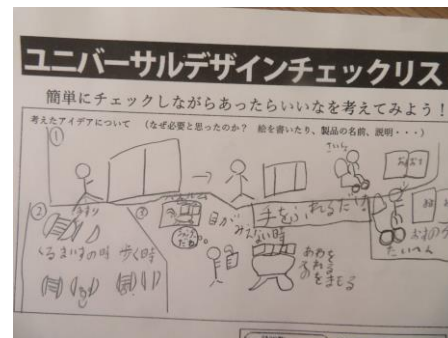
ですから広い視野をもち、多角的・多面的に考察する力や「この行為はどのような結果に結びつくのか」を想像できる人材が求められるのだと思います。

3月の主な行事予定

日	曜	行 事	スマ	16	木	金管集会	○
1	水	B4 区小研	×	17	金	避難訓練	○
2	木	ひなまつり集会	○	18	土		
3	金	仲良し班活動お別れ会	○	19	日		
4	土	土曜授業 6送会・祝う会 P運 開かれ	×	20	月	全校朝会 大掃除	×
5	日			21	火	春分の日	
6	月	全校朝会 あいさつウィーク	○	22	水	卒業式予行	×
7	火		○	23	木	修了式 午前授業・給食なし	×
8	水	B 委員会	×	24	金	卒業式	×
9	木		○	25	土	春季休業日	
10	金	安全指導・点検 シェイクアウト訓練 お茶会(2)	○	26	日		
11	土			27	月		
12	日			28	火		
13	月	全校朝会	○	29	水		
14	火	「学校で朝ごはん」(456) OP	○	30	木		
15	水		×	31	金		

※()の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 OPはオリベック実施日 スクールカウンセラー配置日は水・金

2/3 (体操) 2/9 (ユニバーサルデザイン) 出前授業 (3年)



3年生は連続して出前授業の体験に恵まれました。若く元気な青年男子2名が、演技を見せてくれたり、コツをやさしく教えてくれたりしました。子どもたちもいつもより勇気を起こして様々な運動に挑戦していたようです。ユニバーサルデザインの授業では、その意味をしっかりと学び、身近な用具がどのように改善されているのかを見て確かめました。その上で、困りそうなことや思いついた改善アイデアも出しました。

2/10 東京藝大連携コンサート



今年も東京藝大の皆さんに金管楽器の美しい五重奏を披露していただきました。様々な時代の代表的な曲を味わえる演目で、とても濃密な時間を過ごすことができました。

2/27 国際理解教育 (エクアドル)



NPO法人「ガラパゴスの会」の方に、日本からは地球の裏側にあたる南米エクアドルの地理や文化について教えていただきました。いつかは赤道を越えて行ってみたいくなった子もいたのでは？